

環境で地方を元気にする 地域循環共生圏づくりプラットフォーム事業 キックオフミーティング発表資料

活動団体名：おわせ S E A モデル協議会

活動地域：三重県尾鷲市

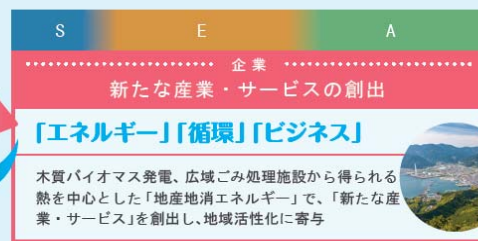
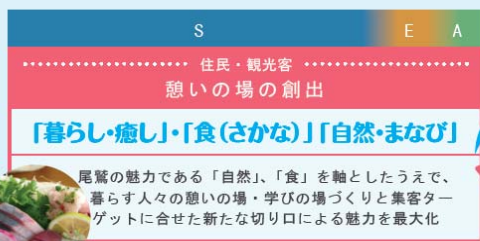
活動におけるテーマ

おわせ S E A モデルを活用した 「ふるさと尾鷲」の復活

地域循環共生圏を活用して目指す地域の姿

尾鷲市、尾鷲商工会議所および中部電力(株)が、中部電力(株)尾鷲三田火力発電所の跡地を「新たなエネルギー」と「豊かな自然の力」で、産業、観光、市民サービスを融合した拠点として、人々が集い活気あふれる「ふるさと尾鷲」を目指していく

ふるさとエネ・ルネサンスOWASE



地域の現状と課題

地域の現状

◎活動地域の概要

- 三重県の南部、東紀州地域の中央に位置
- 海と山に囲まれた地域
- 人口：17,720人うち6割が50歳以上(7/1現在)

◎活動地域の特性（強み・弱み）

- 【強み】
- 漁業や林業が盛ん
 - 多雨地帯であるが日照時間は比較的長い
 - 熊野古道（世界遺産）がある
- 【弱み】
- 高齢化、過疎化が進んでいる
 - 津波の浸水域

◎活動地域にある地域資源

- 発電所跡地：約63万m²
- 豊かな自然環境
(水産業:ブリ、林業:尾鷲ヒノキ)
- エネルギー施設からの未利用エネルギー
- 地下水や海水（海洋深層水）も豊富

課題

◎現状から考える地域の課題

- 津波の浸水域
- 市の財政難
- 産業の空洞化および雇用の減少
- 人口の流出と高齢化
- 大都市からの距離が遠い
- 観光への訴求力が乏しい

◎今後取り組むべき課題

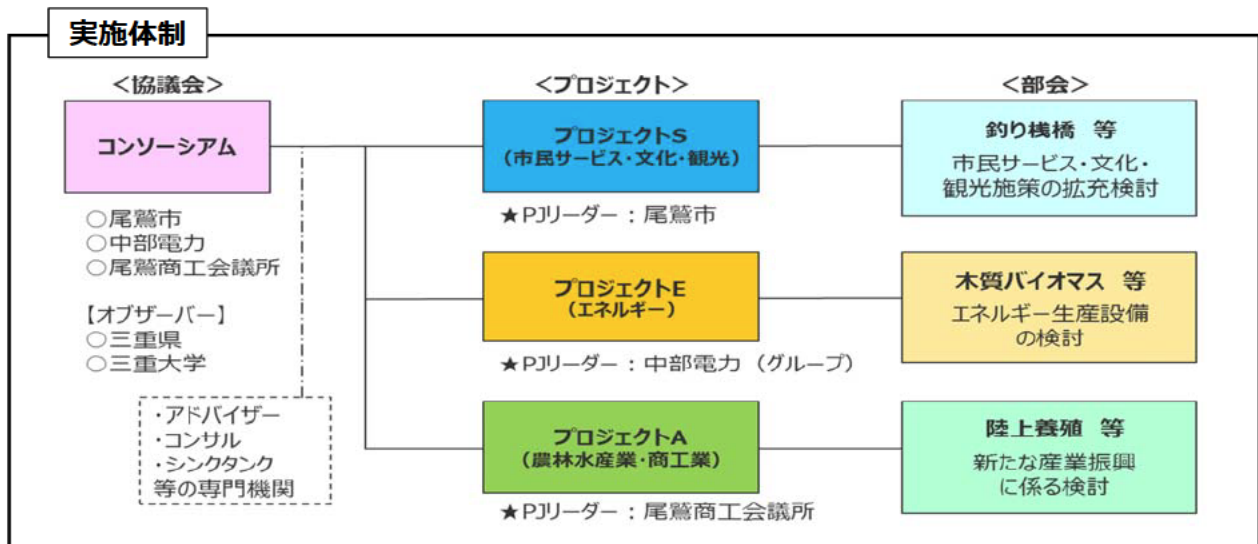
- 働く場所（雇用）の創出
- 教育環境の場の創出
- 高齢化社会に対応したまちづくり

◎課題の中で地域循環共生圏を活用し、解決しようとする課題

- 地産エネルギーの有効活用による新たな産業の創出による雇用創出および人口流出の歯止め
- 自然を活かした観光拠点の開発による尾鷲市外からの来訪者（集客）の増加

地域循環共生圏を活用して目指す地域の実現のために

- ✓ 本活動に当たっては、尾鷲市、尾鷲商工会議所および中部電力(株)の3者で協議体を構成し、その協議体の下にプロジェクト毎に部会を設置し、具体的な検討を進めていく
- ✓ 協議会には、アドバイザーとして三重県、三重大学を加え、産官学連携にて課題解決、施策の実現に向けて取り組んでいく
- ✓ なお、部会には協議会メンバーの他、各種組合（漁協、森林組合）、地元金融機関、地元企業・事業パートナーおよびコンサル会社などにも鋭意参画いただき、検討を深化させていく



今後の事業取り組み予定

- ✓ 昨年度末に協議会にてグランドデザインを策定し、展開を目指していく各事業を設定した
- ✓ 当グランドデザインに基づき、具体的な検討を進めていく中で、以下の点が重要なポイントとなる
 - * 魅力的なコンテンツの設定および企業誘致の実現
 - * 各事業における事業性の担保（自立）および事業運営スキームの確立
 - * 各事業・施策の連携による、相乗効果の発揮 など

【ゾーニング構想・イメージ】



【各事業イメージ】

用途（事業）	内容
釣り桟橋	日本最大級となる釣り桟橋を設け、新たな釣りのフィールドを設ける
運動施設・公園	子供からお年寄りまでのんびりつづげる市民の憩いの場を創出する
教育・体験学習	市内外の児童・学生を呼び込むフィールド教育の場を創出する
アクティビティ	自然を満喫するアクティビティを核とした着地型観光の拠点を創出する
宿泊施設	グランピングやコンテナハウスなどによる癒しの場を創出する
PoC(実証実験)	時代、地域にあった実証実験ができる産業創出の場を創出する
企業誘致	コンセプトに合致した企業誘致を行い、新たな雇用の場を創出する
ごみ処理施設	広域ごみ処理施設を整備し、排熱活用することで新たな産業を創出する
木質バイオマス発電	周辺地域の間伐材等を活用し、排熱活用することで新たな産業を創出する
太陽光発電	エリア内における誘致企業等へのクリーンで安価な電力供給を検討する
陸上養殖	エネルギー施設からの排熱を活用した屋内型施設による陸上養殖を行う
植物工場	エネルギー施設からの排熱を活用した次世代型施設園芸を行う
飲食・商業施設	市民から来訪者まで活用される施設。集客交流拠点として誘致・建設する

スケジュール（令和元年度）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
事業全体の予定				◇請負業者決定 ◇事務局設置 ◇キックオフミーティング				現地意見交換会		◇中間報告書提出期限 活動回休成果報告書提出◇			◇成果発表会 ◇シンポジウム
ビジョンの策定	▼各部会設立 ▼事務局会議	▼事務局会議 ▼事務局会議	▼事務局会議	▼事務局会議	▼事務局会議	▼事務局会議	▼事務局会議	▼事務局会議	▼事務局会議	▼事務局会議	▼事務局会議	▼事務局会議	協議会総会▼ ▼事務局会議
	【全 体】ゾーニング、企業誘致条件、全体事業運営スキーム、津波対策等検討												
	【PJ-S】部会開催（コンテンツ設定、事業スキーム検討、資金調達検討、事業性評価 等）												
	【PJ-E】部会開催（事業スキーム検討、事業性評価、排熱活用検討 等）												
ステークホルダーの巻き込み	市民への説明会（鹿野市）												
	▼フォーラム開催（8/3） ▼HP開設予定												
	HPでの企業・事業者募集												
	【PJ-S】部会参画者拡大、企業誘致・情報発信活動、補助金獲得活動												
【PJ-E】部会参画者拡大、事業関係者（行政、組合、民間企業等）との協議・折衝、企業誘致・情報発信活動													
【PJ-A】部会参画者拡大、企業誘致・情報発信活動、事業者公募、補助金獲得活動													